

弥生3月、春が巡り、93名が巣立ちの時を迎えました。本日この佳き日、松江市長 上定昭仁様、PTA会長 樋ヶ通子様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席のもと、令和七年度卒業証書授与式を挙げていきますことは、卒業生はもとより、私たち教職員及び在校生にとって大きな喜びであります。高所からではありますが、心からお礼申し上げます。

保護者の皆様、誕生の日から早18年、皆様の腕の中から巣立つ日を迎えたお子様の姿に、感慨入ることと存じます。お子様は立派に成長し、逞しい大人へと進化しております。これまでの本校教育へのご理解、ご協力、ご支援に深く感謝するとともに、お子様の成長と卒業を心よりお祝い申し上げます。

ただいま卒業証書を授与した、普通科82名、国際コミュニケーション科11名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。「卒業」とは、「業をおえる」ことですが、教科学習や「まつえ学」をはじめとする探究的な学び、希望実現をめざして轍を残してきたキャリア教育、学校行事や部活動、生徒会等の課外活動を含め、3年間に経験・会得したその全てが業なのです。人によって濃淡や習得度に違いはあっても、業を全うし終えたという意味では皆同じです。卒業は、「与えられた」のではなく、自ら「手に入れた」、進路実現を可能にする権利であり、資格といえます。皆さんは、この歴史と伝統ある皆美が丘女子高等学校での業を立派に終え、晴れて次のステージに向かう「有資格者」であり、未来へと羽ばたいていく「巣立ちびと」です。「高校卒業」という一つの大きな壁をしっかりと乗り越えた皆さんを、教職員一同、心より祝福します。

さて、皆さんの高校生活を振り返ると、感動することや讃えたい場面が数多くありました。市立体育館が使えずに鹿島の体育館で開催した体育祭をはじめ、素敵な学園祭を困難にも負けず協働的に成功させてくれたことは、一番に頭に浮かぶ忘れられない思い出です。次に、本日までの出席が対象である皆勤について、学校を休まずに学び続けて達成した人が、3年間皆勤で2名、1年間皆勤で7名あったのはとても嬉しいことでした。新型コロナウイルスの流行が「必ずしも無理に登校しなくてよい」といった雰囲気をもたせた中学、高校時代にあって、1日も1時間も休むことなく学びを止めなかった皆さんの存在には大いに勇気づけられました。そして、何にもまして讃えたいのは、希望する進路の実現に果敢に挑み続ける姿です。周知のとおり、本校は、地域への貢献人材、グローバル感覚をもった人材、女性リーダーの育成をめざして教育活動に取り組む学校です。通学バスの運転手さんの姿に憧れて、地域の力になりたいと松江市交通局の採用に挑み実現した人、地域医療に貢献したいと面接と小論文のスキルを高めて自分の思いを見事にプレゼンし、県内の看護系大学への進学を果たした人、県外の保育系短大のオープンキャンパスに顔と名前を覚えてもらうほどに足繫く5回も参加し、念願の合格をつかみ取った人、高校入学段階から語学スキルを高めてグローバルに活躍したいとの意欲を強く持ち、外語系の大学や専門学校への進学を実現した国際コミュニケーション科の生徒たち。そうした生徒たちに共通していたのは、強い意欲や意志と果敢に挑戦する行動力、そして決して諦めない粘り強さでした。さらに直近では、つい先日行われた人権教育講演会で、差別に関する講師の話に、私語もせず真摯に聞き入る後ろ姿には感動すら覚えました。卒業間近とはいえ、しっかりと成長した皆さんの姿が見れたことは、大変頼もしく、ひと際心強く思いました。

ところで、皆さんが成人となって向かう次のステージは、誰にとっても未知の世界です。保護者の方々をはじめとする大人が辿ってきた途とは根本的に異なる、世にいう「常識」がすぐに変ってしまうような、変化の激しい世界に身を置くこととなります。許しがたい戦争や紛争、突発的な事件や事故、大規模な天災や災害は世界各地で起こり続けていますし、これから先、皆さん自身に降りかかり、何よりも大切にしたい命が脅かされることがあるかもしれません。AI(人工知能)が凌駕し、社会における人間の役割が大きく変わってゆくことでしょう。温かく守られた高校時代とは比べものにならないほどの苦難を味わったり、逆に新たな価値や仕組みによる利便性や快楽を堪能できたりするかもしれません。史上初めての女性首相の誕生に象徴されるように、女性活躍が当たり前前の時代となっていくことでしょう。そんな、誰にも予見できない、でも可能性に満ちた新たな世界に向かっていく皆さんにエールを込めて、ここで一つの提案をさせていただきます。皆さんに対しての高校でのラスト授業と思って聞いてください。

ぜひとも心がけてほしいことがあります。それは、「信用と信頼を大切にすることをもち続けてほしい」ということです。

法治国家である日本、グローバルな関わりも当然となっている中で、信用と信頼は、安全・安心を保障し、未来を明るく照らしてくれる貴重なアイテムです。紙幣や硬貨、換金可能なポイントなどはその代表格で、そのもの自体にはさして価値もないのに、信用に基づいて価値が発生します。交通信号も同様で、赤信号が勝手に無視されたら事故は起こって当然です。お金のしる信号にしる、価値や意義が皆に共有され、普段守られているからこそ、安心して生活ができるのです。私たちは何気なく当たり前を過ごしていますが、平穏な日常は様々な規則やルール、時としてマナーや常識といった観念によって守られ、それらを誠実に守るからこそ保たれていることを決して忘れてはいけません。

皆さんは、この皆美が丘の地で学び、新たな進路に結び付けてくれました。進学や就職、すべてはこの地での誠実で豊かな学びや経験を信頼に変えて受験に挑み、様々な希望進路の実現を果たしてきたのです。よく「実力で勝ち取った」といいますが、ただの実力で叶ったものは一つもなく、本校で学んだ実績が信用・信頼の裏付けとなっていることを忘れずに、本校で学んだことに誇りと自信をもって、新天地でも活躍してほしいと心から願っています。

ルールやマナーはどこでも存在します。温室のような本校とは違って、厳しくつきつけられ、評価を左右されることも増えてでしょう。わがままのまま、自分たちの勝手では済まされない、大人のルール・規則が待っています。そのみだしなみやふるまい、表現行為は適切か、許容される範囲か、皆さん自身でしっかりと想像力を働かせて自己判断の上で発揮してください。SNSについて取り沙汰されることも多くありますが、SNS上の情報や表現が危険視されるのは、信用・信頼に値する人物が見えないからではないでしょうか。「所詮高校生だから・・・」では許されない、自覚と責任を求められる大人になる皆さん、人や社会と関わる際には、ぜひとも信用と信頼を大切に、新たな世界での活躍に期待しています。

ここで言葉を紹介します。何度か伝えてきた言葉ですが、覚えていますか。それは、「過去と他人は変えられないが、未来と自分を変えられる」という言葉です。英語の原文は、"You cannot change others or the past, you can change yourself and the future,"カナダの精神科医エリック・バーン(交流分析の創始者)の言葉です。

皆さんの「過去」は、良きにつけ悪きにつけ、言うなれば「自由度の高かった高校生活」であつたでしょう。ロウるさいほどに指導してきたみだしなみについては、あなたたちの流行やセンスと相容れないこともきつとあつたでしょう。また、自由奔放なふるまいは、時に信用を失墜させ、信頼性を欠く言動が見受けられたこともありました。しかし、過去は戻ってきません。変えられない過去は思い出としてとどめ、未来と自分自身の意識を変えていくために、これから進む世界や社会をしっかりとイメージして、次なる一步を正しく踏み出してほしいのです。在校生の皆さんも、学校生活の在り方を考えて、よりよい行動を心がけてください。高校時代からパフォーマンス(P)、ホスピタリティ(H)、コミュニケーション(C)の向上をめざして普段から磨き続け、この皆美が丘女子高を誰からも期待される、地域から応援される学校へと高めていきましょう。それが、卒業生を晴れやかに心置きなく送り出すことにつながり、また皆さんがこれからも学び続ける本校を誇り高き学校にしていくことになると信じます。

さあ、新たなステージへの旅立ちです。これからもバランスよく、それぞれの置かれた場所で自分らしい花を咲かせてほしいと願っています。本校は、これからもこの皆美が丘の地で「灯台」のようにそびえ、一隅をも照らし続けていきます。卒業生の皆さん、どんな所からでも、またいつでも母校を思い出し、時には里帰りをして元気な姿を見せてください。教職員一同、在校生と共に、皆さんの母校が、生徒が成長し地域に愛される良き学び舎であるよう伝統を守り続けていきます。

結びに、40年以上にわたって教員生活を送る中で、餞として贈り続けている自作の歌を、卒業する皆さんに贈ります。

(歌) 友があり 師があり そして我がある 活かし活かされ 人は生きゆく

出会った友人、先生、保護者をはじめ、関わりある全ての方々への感謝を忘れず、必ずや「活かす」人になってください。

以上、卒業する93名の、輝きと可能性あふれる未来に幸あれと祈り、式辞といたします。

令和8年3月1日 松江市立皆美が丘女子高等学校 校長 多々納 雄二